

冬の朝一番、午前7時は寒い。今日は何もやることがないし、お呼びもないのでと独り者の気楽さで2度寝した。床の中はぬくぬくと温かい。次の日も「ま、いいか」と怠惰になっていく。3日目は、さすがにこれはまずいと以前のよつに6時30分に起きた。
(名華女)

時折、電車で移動する機会がある。そんなとき、目の前の人を観察して愉しむ。服装、足元、顔つき、仕草からどんな人だろうかと…。自分の「経験辞典」から引き出すのだが、思考の偏りの発見にも繋がりが癖になる。
(すみちゃん)

「こたつに入ってみかん！」は、私たちサザエさん世代の冬の家族団らんの風景。現在はこたつのない家庭も多いし、大手企業は暖熱器としての生産は中止だという。私は、みかんを持って1人お風呂に入り温まったカラダでそれを食す。至福のひとつ。
(こぼ)

ちょっと前、車体の下に足を入れることでスライドドアが開閉できますよ、なんていう車のCMがあった。それを観て、一瞬「行儀悪い」なんて思ってしまった。



いや、普段の生活はどうだ？冷蔵庫の一番下の引き出し、扇風機のスイッチ、足器用に使っていないか？ハンズフリーは、既に「くせ」でなく、当たり前のように変化しているのかな？でも、刷り込まれた日本のお行儀により何となく罪悪感持つ自分がある…。
(チャーミー)

我が家の食糧庫に常備されている某お菓子メーカーのスナック菓子。固めの歯こたえと口の中に残るイモの感じがくせになる。子ども2人とポリポリポリ。昔はお菓子なんてあんまり食べなかったのに、気付けば食後の恒例行事。
(俺)

△ハモン博士のまとめ

「くせ」というと、「欠点」とか「癖（へき）」など悪い意味でとらえるが、「習慣」とか「まきり」ととらえるのでイメージは大きく変わってはこんがの。つい行ってしまう習慣や行動ということであれば、自分で気が付いていることも多く、自制が働くことも多い。じゃが、意識せずにしてしまうことは悪いことの方が多いとは思いますが、今一度自分の習性を振り返ってみてはどうかの。



問合せ先
おおくち男女共同参画懇話会（地域協働課）
☎ 95-1691

Be のなかつた Ambitious vol.308

町内にお住まいの
20代の皆さんがリレーで登場！

子どもたちの成長を見守って

寺澤 広和さん（上小口） H6・6・14生



子どもが大好き！

保育士になって3年目。今は2歳児クラスを受け持っています。子どもたちの日々の成長を間近で見守れるのが嬉しいですね。靴を履けるようになったり、パジャマを着れるようになったり。小さな成長に感動します。

もともと小さい子と遊ぶのが好きで、友だちに弟や妹がいるとよく遊んでいました。中学生の時に、保育園にボランティアに行ったのが、保育士を目指すきっかけです。

大学の保育科では多くの知識を得ましたが、いざ働き出すと、さまざまな状況に戸惑いながらの一杯の日々。経験を重ね少しずつ余裕が出て

きたところですよ。子育てに悩んでいる保護者の方から、「先生に言ってもらえた言葉で気が楽になりました」といわれた時は、少しでも役に立てたことにやりがいを感じました。支えてもらった経験から

体を動かすのが好きなので、スポーツジムに通ったり、家でダンベルを使って筋トレをしたり、冬はスノーボードを楽しんだりしています。今でこそ、普通に運動を楽しめるようになりましたが、子どもの頃は身体が弱く、2度の手術を経験し、運動を控えていた時期もありました。その頃にたくさんの人に支えてもらった事への感謝の気持ちを少しずつでも返せていけたらと思っています。



▲休日はスノーボードでリフレッシュ。スノーウエーブパーク白鳥高原にて。